

令和2年度
事業計画書

通所介護

大津みやび野ディサービスセンター

法人理念 「いたわりと思いやり」 「地域福祉の拠点として」

1. 事業の内容

| | |
|----------|---|
| 事業の指定 | (総合事業) 通所介護 |
| 事業の名称 | 大津みやび野デイサービスセンター（通常規模型） |
| 指定番号 | 2874006964 |
| 施設の所在地 | 〒671-1146 姫路市大津区大津町1丁目31番地111 TEL 079-236-7750 / FAX 079-236-3180 |
| 事業開始 | 平成25年1月1日 |
| 管理者 | 管理者 辻 勝彦 |
| 利用定員 | 30人／日 |
| 通常の実施地域 | 姫路市（勝原区・大津区・網干区・広畠区・余部区・青山・太市） 太子町 |
| 営業日 | 月曜日～土曜日 (8:30～17:15) |
| サービス提供時間 | 9:00～16:30 |

2. 事業目標

次に掲げる年度目標の具体的対応策を周知・実行し、理念の実現を目指す。

| | |
|--------|---|
| 目標 | 機能訓練の内容の充実を図り、満足度を上げることで、稼働率85%を目指す。 |
| 理由 | 心身状態やニーズは様々の中、主として、理学療法士を中心とした専門的な機能訓練を目的に利用されている方が多いことを踏まえ、より満足感が得られる機能訓練メニューを検討し、自己選択、自己決定による個別機能訓練を図りたいため。 また、心身機能だけでなく、自宅の住宅構造など環境も考慮した機能訓練も提案し、合意のもと、実行していくことで、個々の利用者が希望する住み慣れた自宅での生活の継続につなげたいため。 |
| 具体的対応策 | <ol style="list-style-type: none"> 理学療法士と生活相談員が利用者や家族に加えて、担当介護支援専門員と話し合い、一緒に心身機能や住宅環境に応じた訓練内容を考え、実行する。 理学療法士がモニタリングとして、P D C Aサイクルのもと、利用者や家族の意向を踏まえつつ、現状の訓練内容を検証し、個別訓練計画を見直す。 |

| | |
|--------|---|
| 具体的対応策 | <p>3. 筋力の増強を図るため、担当介護支援専門員と情報交換をしつつ、利用者や家族に訓練内容を提案し、選択された訓練を実行する。</p> <p>4. 心身ともに健やかな状態を図るため、個々の利用者の状態にあわせた脳トレーニングもすすめる。</p> <p>5. 理学療法士が行うモニタリングにあわせて、満足度に関するアンケート調査を行い、集計結果を担当介護支援専門員に報告する。</p> |
|--------|---|

3. 職員配置

介護保険法に定められている人員配置基準を遵守し、利用者の方々が、安全で快適生活が過ごせるように次の人員を配置する。

| 職種 | 常勤 | 非常勤 | | フルパート | | パート | | 合計 | |
|---------|----|-----|----|-------|-----|-----|-----|----|-----|
| | | 人数 | 換算 | 人数 | 換算 | 人数 | 換算 | 人数 | 換算 |
| 管理者（兼務） | 1 | | | | | | | 1 | 1.0 |
| 生活相談員 | 1 | | | | | | | 1 | 1.0 |
| 機能訓練指導員 | 1 | | | | | | | 1 | 1.0 |
| 看護職員 | | | | 1 | 0.7 | 1 | 0.3 | 2 | 1.0 |
| 介護員 | | | | 2 | 1.8 | 6 | 3.1 | 8 | 4.9 |
| 運転手 | | | | | | 2 | 0.8 | 2 | 0.8 |
| 合計 | 3 | | | 3 | 2.5 | 9 | 4.2 | 15 | 9.7 |

※管理者は認知症対応型通所介護の管理者を兼務。

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るために、全ての職員が次のいずれかの委員会に属し、多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

| 委員会名 | 活動目標 | 活動回数 |
|----------|--|--------------------------------|
| リスク管理委員会 | 事故報告書やハットヒヤリの内容を集計し、事故が起こる原因等を検討することで事故が再発しないようにする。 | 3ヶ月に1回 【委員会活動】 6・9・12・3月 |
| 接遇委員会 | 施設職員としての心掛けや利用者に対しての声掛けや関わりについての説明を行う。 | 6ヶ月に1回 【委員会活動】 4・10月 |
| 感染・衛生委員会 | 食中毒や感染症発生時の対応についてのケアの統一を図る。また、集団感染の予防と拡大を回避し、感染発生時の対応についての研修を実施する。 | 6ヶ月に1回 【委員会活動】 9・1月 |

| 委員会名 | 活動目標 | 活動回数 |
|-------------|--|------------------------------------|
| 安全対策委員会 | 施設内外の設備点検をはじめ、避難訓練の計画、実施や通報機器の使用説明を行い、非常時に対する意識の向上を図る。 | 【避難訓練】 3ヶ月に1回 【施設内研修】 11月 |
| レクリエーション委員会 | 夏祭りやクリスマス会等のイベントの予算や期間など具体的内容を計画し、実行していく。また、フロア内の季節感を出すための飾り付けなどを実施する。 | 夏祭り 6・7月 クリスマス会 10・11月 |

5. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、めりはりのある生活や馴染みの習慣が継続できるように季節に応じた次の行事を計画する。

| 月 | 行事内容 | 内容 |
|-----|------------------------|--|
| 4月 | ① 花見 | ① 近隣にドライブに出かけ、桜を観賞しながら散策を行う。 先でお茶を楽しむ。 |
| 5月 | ① ドライブ外出（芝桜見学） | ① 芝桜を観賞後、道の駅などで買い物を予定し、社会的参加を実施する。また、外出先では歩行訓練をかねた散歩を予定する。 |
| 6月 | ① ドライブ外出（あじさい見学） | ① 御津町へあじさいの観賞に出かけ、散策を行う。 |
| 7月 | ① 七夕 ② ドライブ外出（散歩外出） | ① 七夕の笹飾りを楽しむ。 ② 河川敷など気持ち良く歩行できる場所へと外出する。 |
| 8月 | ① 夏祭り | ① ヨーヨー釣りや射的など夏祭りの出し物を実施し、職員と利用者の交流を図る。 |
| 9月 | ① 寿会 | ① ボランティアによる舞踊を鑑賞する。 |
| 10月 | ① ドライブ外出（コスモス畑見学） | ① たつの市の馬場へとコスモス見学に出かける。 |
| 11月 | ① ドライブ外出（紅葉見学） | ① 季節の変化を感じながら、たつの方面の紅葉を観賞し、散策を行う。 |

| 月 | 行 事 内 容 | 内 容 |
|-----|-----------------------------|---|
| 12月 | ① クリスマス会 | ① ハンドベルやカラオケ大会などクリスマスイベントを実施し、職員と利用者の交流を図る。 |
| 1月 | ① 初詣（大塩神社・松原神社） | ① 大塩神社や松原神社へと初詣の参拝に出かける。 |
| 2月 | ① 節分（豆まき） ② ドライブ外出（安志稻荷） | ① 節分の豆まきを行う。 ② 外出先において景色や地域の公園等にて散歩を楽しむ。 |
| 3月 | ① 梅林公園や曾根神社へ梅花見学 | ① 御津町へドライブに出かけ、梅を観賞しながら散策を行う。 |
| 毎月 | ① 園だよりの発行 | ① 事業所独自の広報誌を発行し、毎月の取り組みをより詳しく紹介する。 |

6. 施設の安全対策

一人ひとりの利用者の安全な生活の継続を図るため、防災意識を高め、有事に備えて、次の災害への対策を実施する。

| 月 | 訓 練 種 目 | 内 容 |
|-----|----------|-----------------|
| 4月 | 防災訓練 | 防災に関する設備の説明 |
| 5月 | みやび野合同訓練 | みやび野エリアでの連携訓練 |
| 6月 | 消防訓練 | 避難誘導及び各部署との連携確認 |
| 9月 | 防災訓練 | 避難シューターの使用法周知 |
| 11月 | みやび野合同訓練 | みやび野エリアでの合同連携訓練 |
| 12月 | 消防訓練 | 通報機器、通報内容の確認 |
| 3月 | 消防訓練 | 避難誘導及び各部署との連携確認 |

7. 施設内職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、次のとおり施設内研修を実施する。

| 月 | 研修名 | 対象 | 研修担当 |
|-----|--------------------------------------|-----|-------------|
| 4月 | 倫理及び法令遵守 個人情報研修に関する研修 接遇に対する研修 | 全職員 | 理事長・事務長・管理者 |
| 9月 | 感染症研修（ノロウイルス） | 全職員 | 感染委員会（看護師） |
| 10月 | 接遇研修 | 全職員 | 管理者 |
| 11月 | 安全対策研修 | 全職員 | 生活相談員 |
| 1月 | 感染症研修（インフルエンザ） | 全職員 | 感染委員会（看護師） |
| 3月 | リスク研修 | 全職員 | 生活相談員 |

8. 研修計画

各職員の職種と役割、経験年数に合わせて、習得するべき能力やスキルを明確にし、ボトムアップ（底上げ）を図るため、それに応じた研修への参加を促す。

| 対象 | 研修内容 | 研修名 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|--------|
| 生活相談員 介護支援専門員 介護主任 ユニットリーダー | ・各事業所のリーダーとして、求められる役割と持つべきスキルなどについて | リーダー研修 |
| 法人全体 | ・福祉、介護の専門職として、持つべきマナーなどについて | 接遇研修 |